

① 自治会や住民の町行政機関や諸団体との有り方について

- (1) 町の機関や諸団体として、各学校、各地区コミュニティ、各地区公民館、各校区青少年育成協議会、自治会長会などがあるが、各自治会や住民はどのような基準で、それぞれの機関、諸団体に加入、参加しているのか。
- (2) 長与ニュータウンの吉無田郷の自治会や住民は、洗切小学校区内の機関や諸団体に加入、参加して活動している。それからすると、緑ヶ丘自治会や住民は長与小学校区内の機関や諸団体に加入参加できるよう移行すべきと思うが、どうか。特に、児童・生徒たちは長与小学校区機関や諸団体との関連が、一体となり強くなる。また、安全面や利便性も有利である。移行することによって町長の基本理念である「幸福度日本一」「住み続けたい」長与と一致すると思う。
- (3) 学校選択制のその後の協議はどうなっているのか。

② 危険な場所の改修、改善について

- (1) 2019年（令和元年）5月に大津市で、園児を巻き込む悲惨な交通事故が発生して、2年目に入りました。町においても交差点附近にポールなどを設置すべきと、すぐ提言・提案してきた。その後、県道、国道に、ガードポールが設置されている。町道においても早急に設置すべきと再度提言・提案する。特に役場前の交差点が重要である。
- (2) トイレのドアには、内開きと外開きがあるが、マスク着用や熱中症などの影響で、トイレ内で意識不明となることが予想される。内開きでは、発見や救助が困難を要する。よって、改修、改善に取り組むべきと思うが、どうか。

③ 中尾城公園の今後の有り方について

先人の教えに「3つの鏡」（銅、歴史、人）というのがあるが、それに基づいて質問する。

- (1) 中尾城公園のスパイラルスライダーに7月19日の新聞に「利用再開の可能性低い」と町長が答えたと記載されていた。ということは、今は低いが先々には再開するということか。
- (2) 断念した場合でも、スライダーは残す方針と、答弁がある。今までも、撤去すべきと提案、提言してきた。なぜなら、利用者数も減少している、また、事故が発生して5年間も放置されてきた。こういう歴史が示す物件を残すということは、考えられない。今後の町の発展や未来を示す大事な物件とは思えない。先のこととなるが、次の町長となったとき、大事な物件として残すことは考えられない。吉田町長が今決断すべきと思う、どうか。なぜ残すのか。その大義を問う。
- (3) スライダー内に「カビ」や「ばい菌」の発生が考えられるがどうか。
- (4) 魅力ある中尾城公園とするために、どのようにしていくのか。その一つとして「吊り橋」を併設してはどうか、提案する。